

平成18年度

学校 Web ページ作成研修講座 HTML の基礎 I

～メモ帳で Web ページを作ろう！！～



【今回の勉強内容】

- ・メモ帳／ファイルの保存／文字入力／ページタイトルの設定
- ・文字色の設定／文字サイズの設定／水平線／リンクの設定

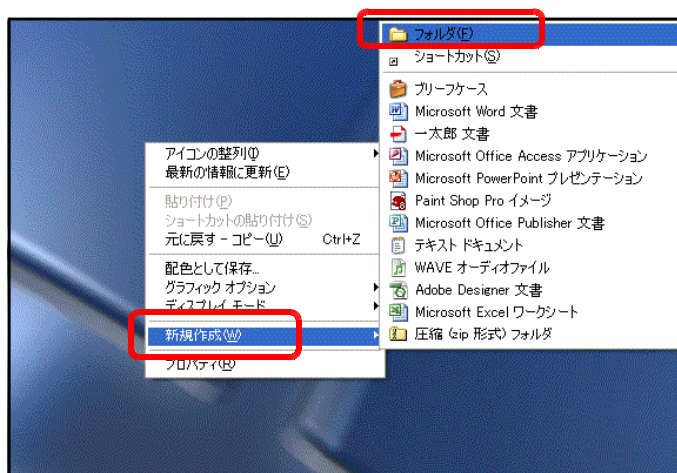
目次

1	HTML の概要	1
2	メモ帳の利用	2
3	文字入力	4
4	ページタイトルの設定	6
5	文字色の設定	7
6	文字サイズの設定	9
7	水平線	10
8	リンクの設定	12

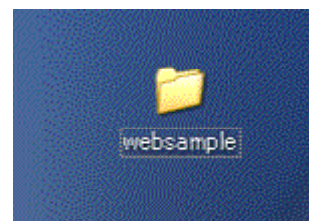
【作業フォルダの準備】

作成したファイルを保存するフォルダとして、デスクトップ上に「websample」フォルダを作成します。

- (1) デスクトップ上で右クリックから、[新規作成] - [フォルダ] をクリックします。



- (2) ファイル名を「websample」に変更します。以後、作成したファイル等は、このフォルダに保存していきます。

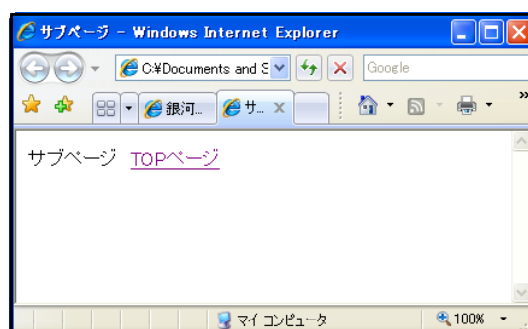
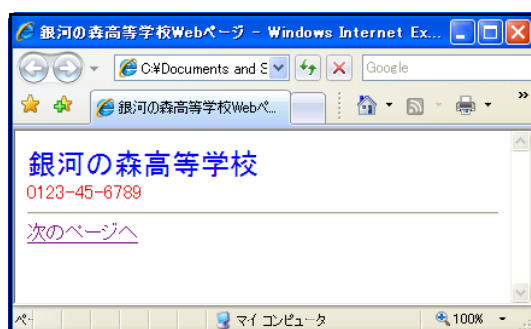


【作成サンプル】

・・・ 本テキストで作成するサンプルページです。

(index.html)

(sub.html)



1 HTML の概要

Web ページの基本となるのが『HTML (Hyper Text Mark-up Language)』です。HTML 文書が普通の文書と異なるのは、『タグ』で記述されていることです。この『タグ』がブラウザに読み込まれることにより、テキスト（文字）情報が表示されたり、文字の色が変更されたり、大きさを変えられたり、他のページにジャンプすることができます。以前、HTML の作成にあたっては、タグを直接入力して作成していましたが、現在は数多くの作成専用のソフトウェアが商品化され、特にもタグを知らなくともページを作成することができるようになりました。

しかし、これらの専用ソフトウェアにはほとんど HTML モードが搭載されており、直接タグで Web ページを作成できるようになっています。この理由は、専用ソフトウェアを利用して作成するよりも、直接 HTML で作成する方が、自由度が高く、自分の意図を表現するのに適しているからです。

(1) HTML の始まり

1989 年、スイスの CERN という研究所に勤務していた Tim Berners-Lee 氏によって、HTML の基礎が築かれました。

当時は研究資料や論文は、書類やコンピュータにデータとして蓄積されているだけの状況でした。目的の文書を探し出すには、膨大な量の書類やデータの中から探し出さなければならず、労力と時間を費やすものでした。そこで Tim Berners-Lee 氏は、コンピュータにデータとして保存されている文書の文字列に別の文書を読み出す仕掛けを作り出し、この仕掛けから次々と文書を読み出すことで、関連性のある情報をたどっていくくみを考案しました。これが、「Hyper Text」つまり HTML 文書の始まりです。ただし、当時は利便性を考慮して「必要な情報を早く取り出す！！」ために、画像や動画は扱われなかったようです。

(2) ブラウザの進化

1993 年、Mac Andreessen 氏によって、ブラウザ「Mosaic」が開発されました。Mosaic は画像が表示でき、世界中のユーザが一気に増えました。そこで、Mac Andreessen 氏は Netscape 社を設立しました。

その後、多くのブラウザが開発され、それにともなって HTML に新しいタグが取り入れられてきましたが、世間に受け入れられるタグだけが残りました。さらには、煩雑になる HTML を標準化するために W3C (World Wide Web Consortium) なる団体が設立されました。

ブラウザのシェア争いの結果、Netscape 社の Netscape Navigator と Microsoft 社の Internet Explorer の 2 社に絞られてきました。両者は、ユーザを自社ブラウザへ取り込もうと、自社ブラウザでしか表示できない新しいタグを次々と投入しました。その結果、Netscape Navigator でないと閲覧できないページや、Internet Explorer でないと見られないページが多く出回ってきました。

1997 年 1 月、事態を重く見た W3C は HTML3.2 を勧告しました。これによって、予想された混乱は回避されましたが、依然としてブラウザ独自のタグは残っており、これが現在まで続くブラウザによる表示／非表示や対応／非対応の問題を残しているのです。

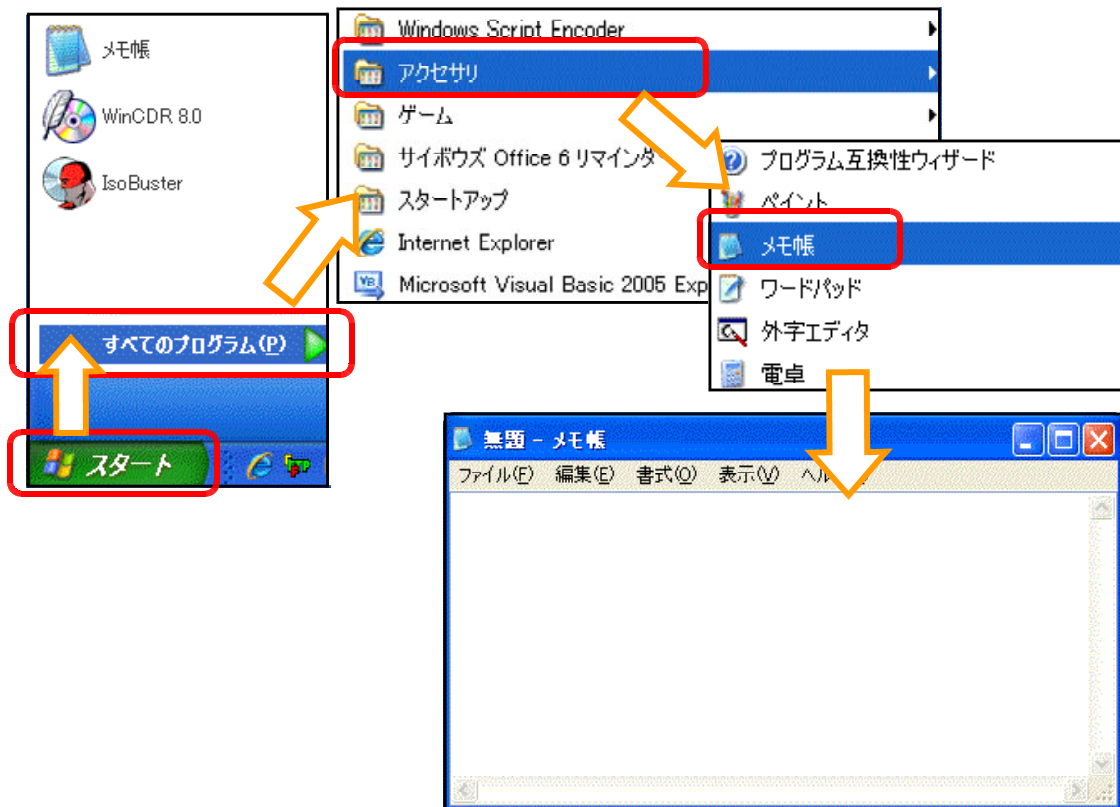
その後、1997 年 12 月に HTML4.0 が、1999 年 12 月には HTML4.01 が W3C によって勧告されました。現在はこの HTML4.01 が最新のバージョンとなります。

2 メモ帳の利用

Web ページ作成を専用ソフトを用いずに行うためには、Windows に標準添付してある『メモ帳』などのテキストエディタを利用します。HTML ファイルはテキスト形式のファイルですので、一太郎やワード等のワープロを用いて、保存する際の形式を変えるだけでも作成可能です。

(1) メモ帳の起動

[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [メモ帳] をクリックします。すると、メモ帳が起動します。

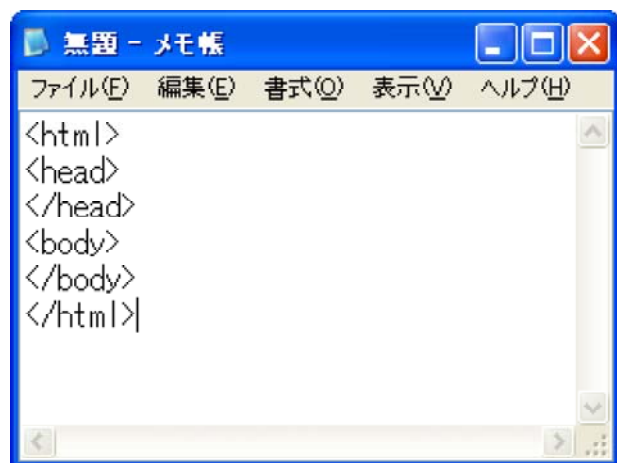


(2) タグの入力

以下のタグをメモ帳内に半角英数で入力します。

```
* <html>  
* <head>  
* </head>  
* <body>  
* </body>  
* </html>
```

*印は、新規入力する部分



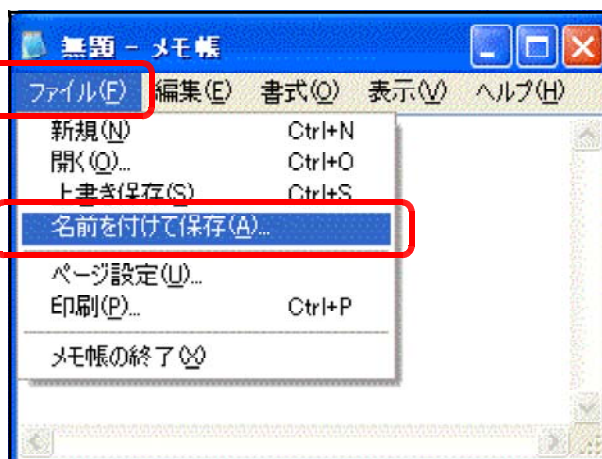
(*) 基本的に半角英数モードの入力であれば、大文字と小文字の区別はありませんが、ファイル名等は大文字・小文字を区別する場合がありますので、作成したページが閲覧できなくなる場合があります。

(3) ファイルの保存

メモ帳で作成したファイルを保存してみましょう。

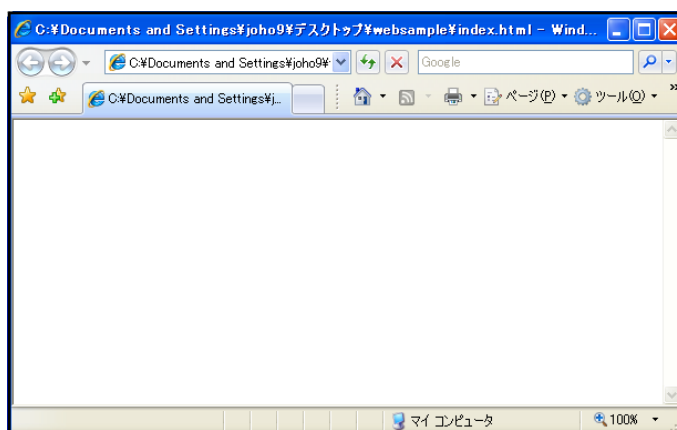
(a) メモ帳のメニューから [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックします。

(b) [保存する場所] を先に作成した『websample』フォルダに、[ファイル名] を「index.html」に設定して、[保存] ボタンをクリックします。



(4) 作成したファイルの閲覧

今、保存した「index.html」のアイコンをダブルクリックすると、ブラウザが起動して、ページが表示されます。ただし、まだページ内には特にも文字等の表示されません。



【タグを覚えよう1】

- [書式] `<html>~</html>` html ファイルであることを明示
- [書式] `<head>~</head>` ページの本文には関わらない設定部分であることを明示
- [書式] `<body>~</body>` ページの本文であることを明示

(注1) タグは、通常、`<~>` で記述される開始タグと、`</~>` で記述される終了タグを対で記述します。

(注2) タグは「入れ子」状に記述することによって、複数反映させることができます。上記に入力した内容は、`<html>~</html>` タグの中に `<head>~</head>` と `<body>~</body>` が入れ子状に記述されています。

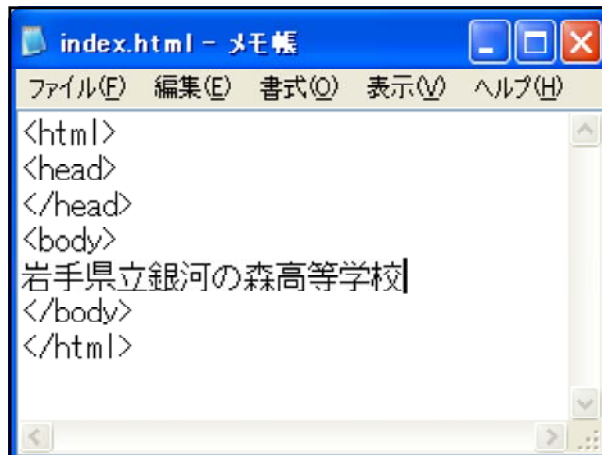
3 文字の入力

それでは、ページ内に文字を表示させてみましょう。

(1) 先に保存した「index.html」ファイルをメモ帳から開きます。

(2) <body>タグの下に以下の文字を入力します。

```
.....  
<body>  
* 岩手県立銀河の森高等学校  
</body>  
.....
```

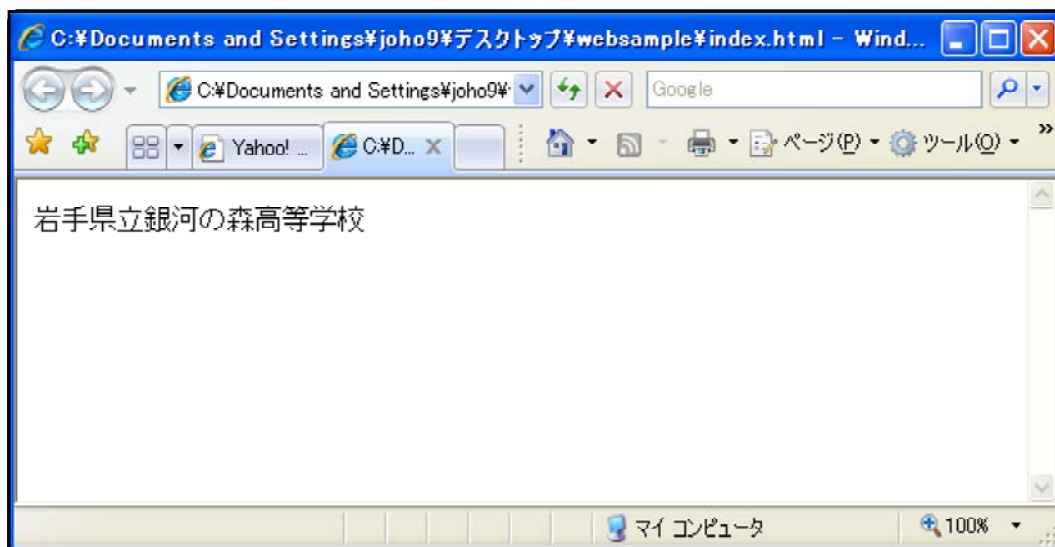


*印は、追加する部分

(3) 上書き保存します。

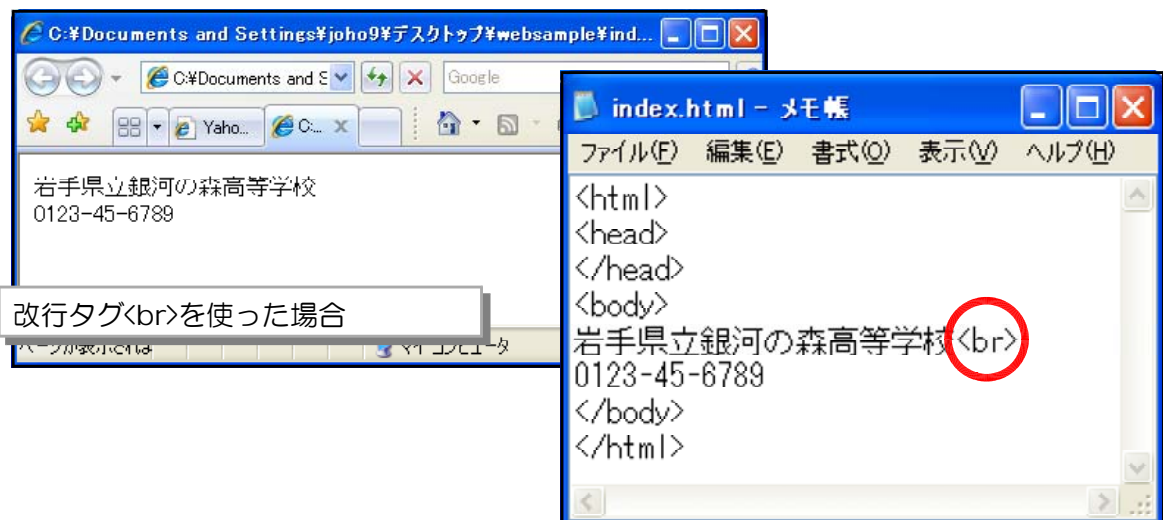
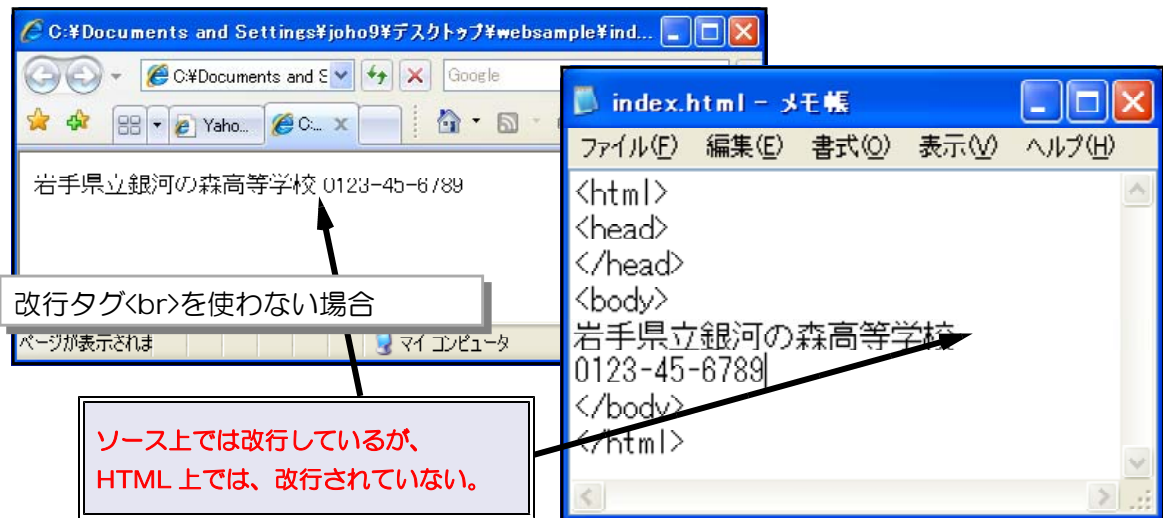
[ファイル] - [上書き保存] をクリックします (ショートカットで Ctrl + s)。

(4) 「index.html」をダブルクリックして、ブラウザから表示させて確認してみましょう。入力した学校名が表示されていることを確認してください。



<memo>

(注) 文字列を表示させるためには、<body>タグと</body>タグの間に文字を記述します。ただし、文字列を改行して複数行の表示にするためには、改行タグ
を入れなければなりません。



【タグを覚えよう2】

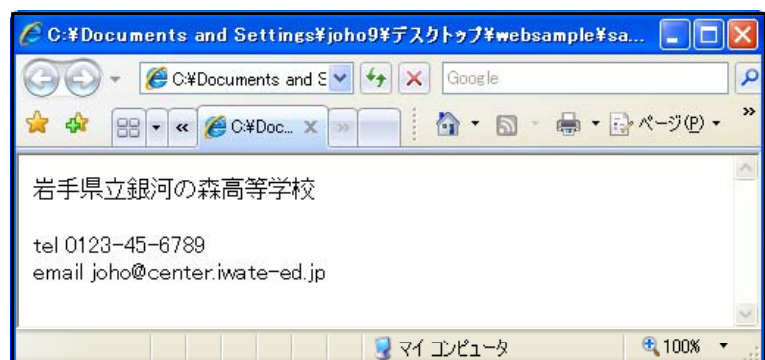
[書式]
 改行する
 (注)
タグには、終了タグがありません。

[書式] <p>~</p> 段落を指定する
 (注) <p>~</p>で囲まれた文字列は、段落として扱われ、自動的に</p>以降の文字列は改行されます。ただし、改行の際は、1行の空欄を作って改行します。

●●課題演習1●●

右図のような表示になるHTMLページを作成しなさい。

sample01.html

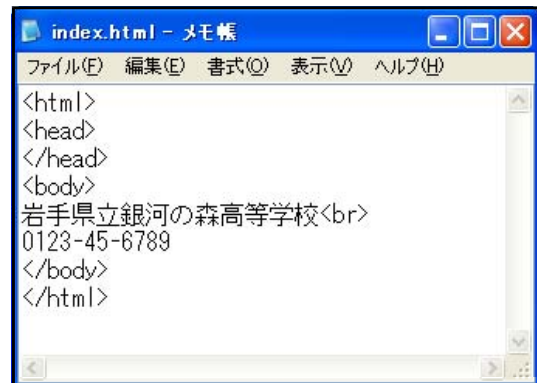


4 ページタイトルの設定

右下図のように、ブラウザのタイトルバーにメッセージを表示することができます。ここに表示される文字列は、『ページタイトル』といいます。検索エンジン等で最初はじめに抽出される部分ですので、通常はページの内容の説明を記述します。

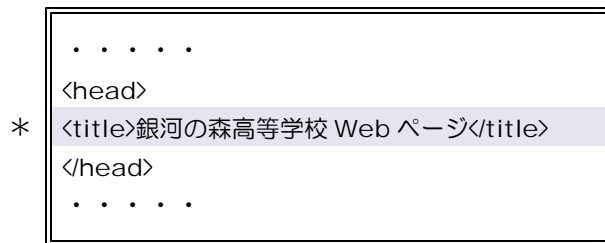


- (1) 先に作成した「index.html」ファイルをメモ帳で開きます。



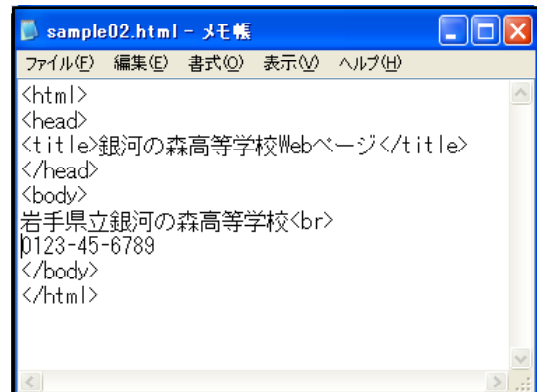
```
index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
<head>
</head>
<body>
岩手県立銀河の森高等学校<br>
0123-45-6789
</body>
</html>
```

- (2) <head>と</head>タグの間に次のようなタグを記述します。



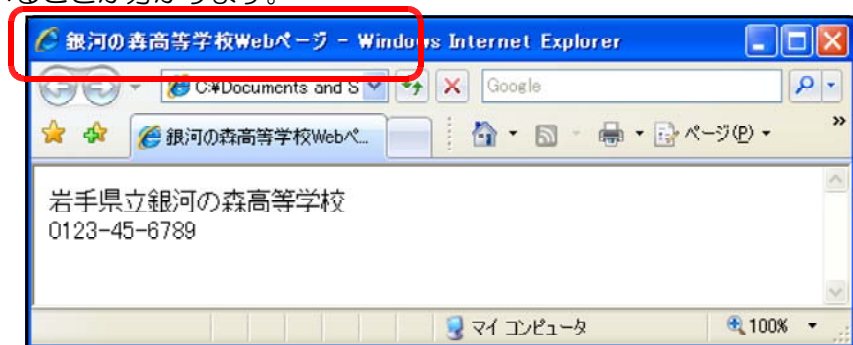
```
.....
<head>
* <title>銀河の森高等学校 Web ページ</title>
</head>
.....
```

*印は、追加する部分



```
sample02.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
<head>
<title>銀河の森高等学校Webページ</title>
</head>
<body>
岩手県立銀河の森高等学校<br>
0123-45-6789
</body>
</html>
```

- (3) 上書き保存をします。
メニューから [ファイル] - [上書き保存] をクリックします。
- (4) 「index.html」ファイルをダブルクリックします。ブラウザから表示させると、ページタイトルが変更されていることが分かります。



【タグを覚えよう3】

[書式] ~ 文字を●色にする

(注) 開始タグからで囲まれた文字の色を変える。

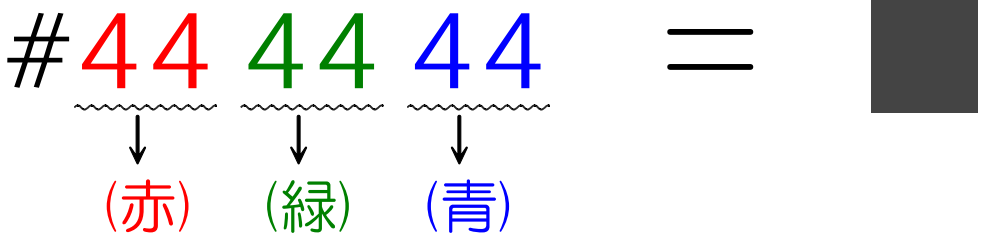
●に指定する方法は、16進数による方法とカラーネームによる方法があります。

5 文字色の設定

HTML ファイル内での色の指定は、文字（テキスト）や背景などに対して行うことができます。指定方法は、『#+ 16 進数表記のカラーの値』もしくは『カラーネーム』を使って指定します。その2つの方法について説明します。

【16 進数表記のカラーの値】

指定方法は、パソコンで色表示に使用する R(赤)・G(緑)・B(青)の各色の値を、「16 進数」に変換して並べます。



(※) 各色 (R・G・B) は、00 ～ FF までの 256 段階で指定した数値の組合せによってさまざまな色を表現します。

(例)	赤	—	#FF0000	黄色	—	#FFFF00
	緑	—	#00FF00	水色	—	#00FFFF
	青	—	#0000FF	紫	—	#FF00FF

(注) 詳細な色と指定数値の対応表は、「color_sample.html」を参照してください。

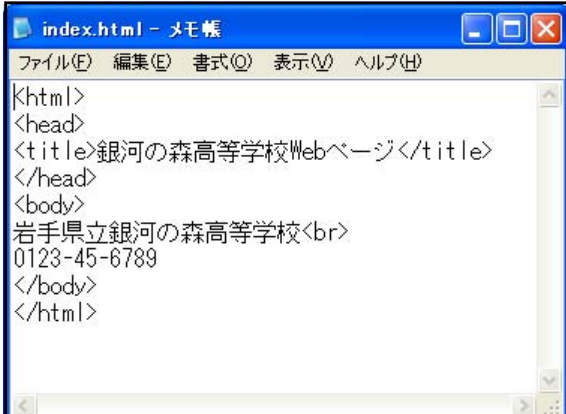
【16 進数表記のカラーの値】

先の 16 進数の指定の代わりに色の名前を使うこともできます。赤指定であれば「red」、青指定であれば「blue」と記述するとその表示になります。

(例)	赤	—	red	黄色	—	yellow
	緑	—	green	水色	—	aqua
	青	—	blue	紫	—	magenta

(注) 詳細な色と名前の対応表は、「color_sample.html」を参照してください。

- (1) 「index.html」ファイルをメモ帳で開きます。



```
<html>
<head>
<title>銀河の森高等学校Webページ</title>
</head>
<body>
岩手県立銀河の森高等学校<br>
0123-45-6789
</body>
</html>
```

- (2) 本文の学校名（例 銀河の森高等学校）を青にしてみましょう。
 <body>タグの下を次のように記述します。

```

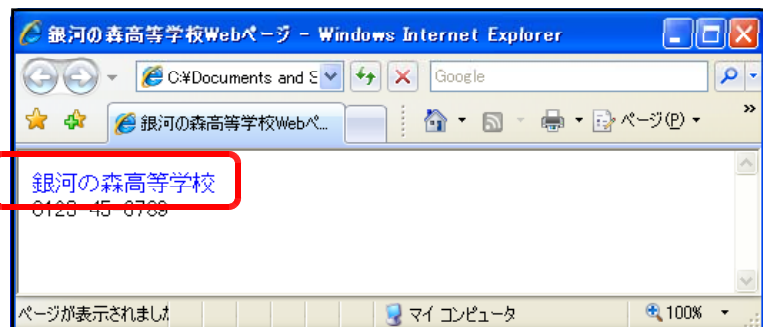
  . . . . .
  <body>
  * <font color="#0000FF">銀河の森高等学校</font><br>
    0123-45-6789
  . . . . .
  
```

*印は、修正する部分。

- (3) 上書き保存します。
 [ファイル] - [上書き保存]
 をクリックします。



- (4) 「index.html」をダブルクリックして、ブラウザから表示させて確認してみましょう。
 学校名が青くなっていることを確認してください。



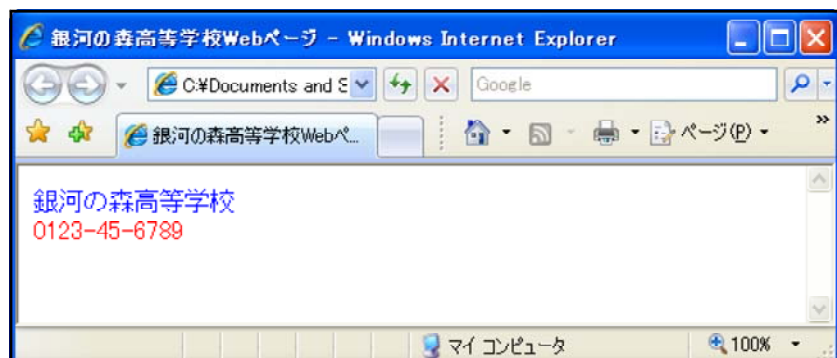
【タグを覚えよう4】

[書式] ~ 文字を●色にする
 (注) 開始タグからで囲まれた文字の色を変える。
 ●に指定する方法は、16進数による方法とカラーネームによる方法があります。

●●課題演習2●●

電話番号の文字列の色を赤にしてみましょう。

sample02.html



6 文字サイズの設定

本文に表示される文字（例 銀河の森高等学校）のサイズを変更してみましょう。

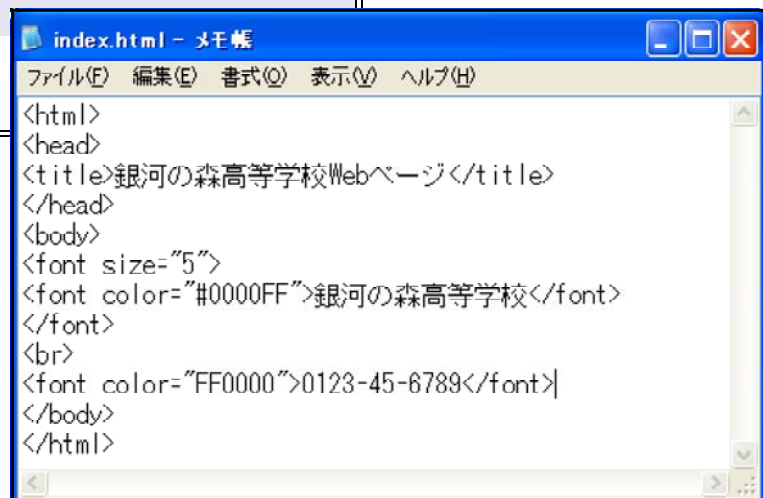
(1) 「index.html」ファイルをメモ帳で開きます。

(2) <body>タグ以下を次のように変更します。

```
.....  
<body>  
* <font size="5">  
<font color="#0000FF">銀河の森高等学校</font>  
* </font>  
<br>  
.....
```

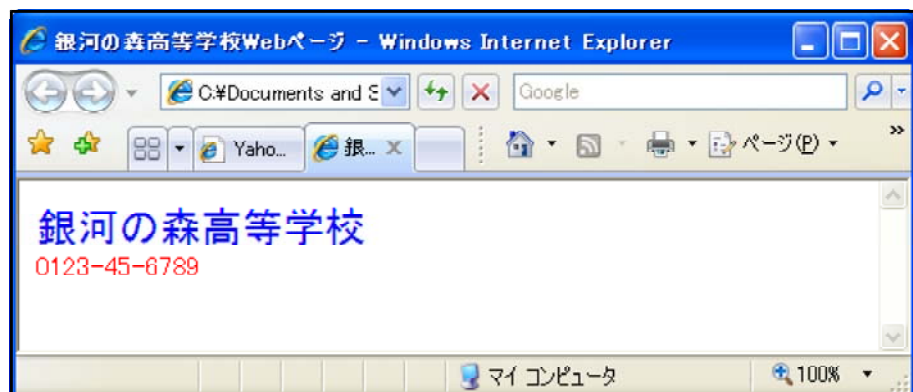
*印は、追加する部分。

(3) 上書き保存します。
[ファイル] - [上書き保存] をクリックします。



```
index.html - メモ帳  
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)  
<html>  
<head>  
<title>銀河の森高等学校Webページ</title>  
</head>  
<body>  
<font size="5">  
<font color="#0000FF">銀河の森高等学校</font>  
</font>  
<br>  
<font color="FF0000">0123-45-6789</font>  
</body>  
</html>
```

(4) 「index.html」をダブルクリックして、ブラウザから表示させて確認してみましょう。学校名が大きくなっていることを確認してください。



【タグを覚えよう5】

[書式] ~ 文字フォントの大きさを変更する

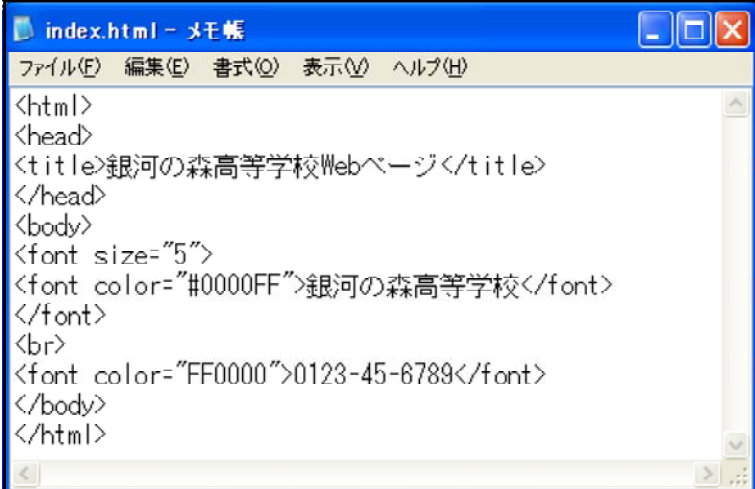
(注) 開始タグから終了タグで囲まれた文字フォントの大きさを変えます。

●には1~7までの7段階で指定することができ、1を指定すると最も小さな文字、7を指定すると最も大きな文字を表示できます。

7 水平線

ページの内容を区切る際に、よく水平線で区切る場合があります。それでは実際にページ内に水平線を挿入してみましょう。

- (1) 「index.html」ファイルをメモ帳で開きます。

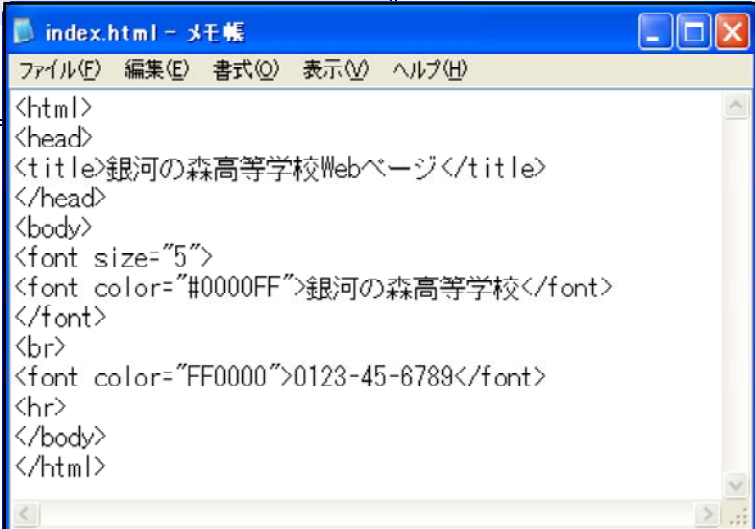


```
index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
<head>
<title>銀河の森高等学校Webページ</title>
</head>
<body>
<font size="5">
<font color="#0000FF">銀河の森高等学校</font>
</font>
<br>
<font color="FF0000">0123-45-6789</font>
</body>
</html>
```

- (2) 以下のタグを加えます。

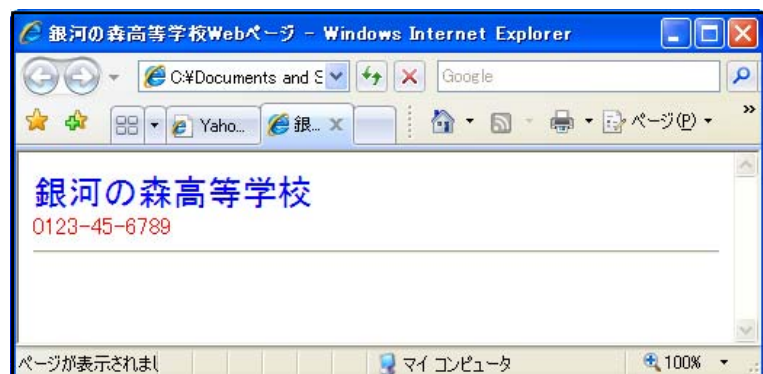
```
.....
* <font color="#FF0000">0123-45-6789</font> *印は、追加する部分。
  <hr>
  </body>
  </html>
```

- (3) 上書き保存します。[ファイル] - [上書き保存] をクリックします。



```
index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<html>
<head>
<title>銀河の森高等学校Webページ</title>
</head>
<body>
<font size="5">
<font color="#0000FF">銀河の森高等学校</font>
</font>
<br>
<font color="FF0000">0123-45-6789</font>
<hr>
</body>
</html>
```

- (4) 「index.html」をダブルクリックして、ブラウザから表示させて確認してみましょう。電話番号の下に水平線が入っていることを確認してください。



【タグを覚えよう6】

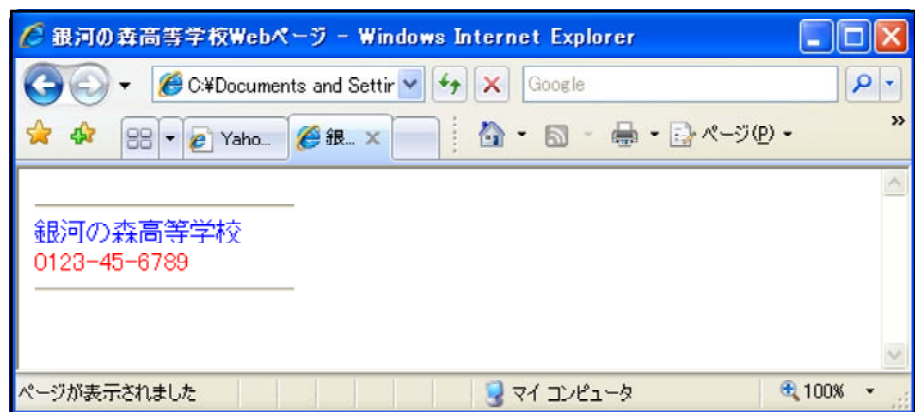
[書式] **<hr>** 水平線を表示します

(注) このタグには終了タグがありません。以下のような詳細な設定をすることができます。

<code><hr></code>	<ぼんだ線
<code><hr noshade></code>	<ぼみのない線
<code><hr size="5"></code>	太さが5ドットの線
<code><hr width="30%"></code>	ページの30%の幅の線
<code><hr width="200"></code>	200ドットの幅の線
<code><hr width="30%" align="left"></code>	ページの30%の幅の線 (左寄せ)

●●課題演習3●●

水平線を右図のように加えて見ましょう。



<memo>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

8 リンクの設定

HTML 文書の最大の特徴は、関連するページにジャンプできることです。この機能をリンク機能といいます。それでは、リンクの設定を試してみましょう。

■サブページの作成■

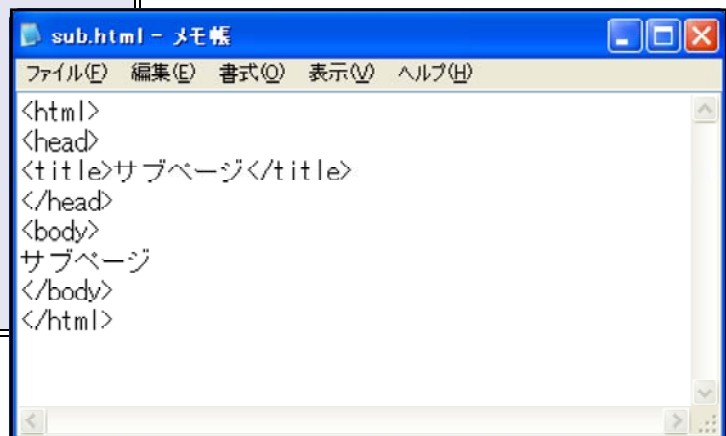
ジャンプするサブページを先に作成してみましょう。

(1) メモ帳を開き、[ファイル] - [新規] で、新しいページを開きます。

(2) 以下のタグを入力します。

```
* <html>
* <head>
* <title>サブページ</title>
* </head>
* <body>
*   サブページ
* </body>
* </html>
```

*印は、新規入力部分。



(3) [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックして、ファイル名を [sub.html] に変更して保存します。これでジャンプ先のページが完成です。



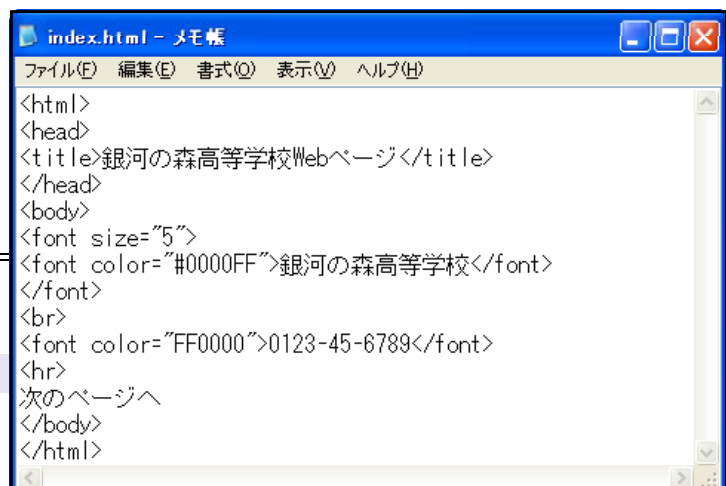
■リンクの設定■

「index.html」ファイル内にリンク設定を試してみましょう。

(1) 「index.html」ファイルをメモ帳で開きます。

(2) メニューとなる以下の文字列を加えます。

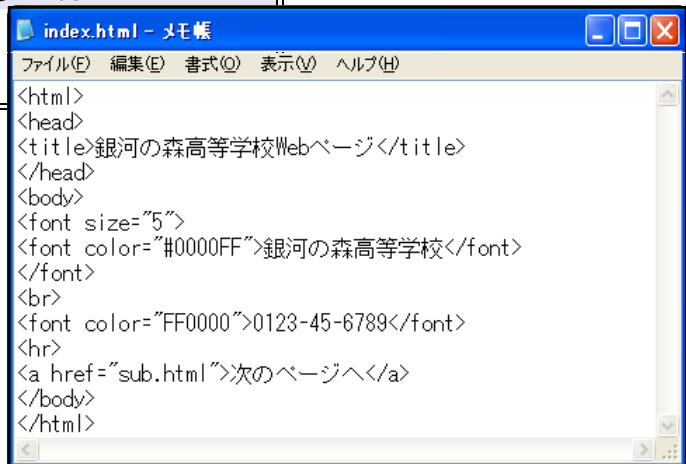
```
.....
* <hr>
* 次のページへ
* </body>
* </html>
```



(3) リンク設定となる次のタグを加えます。

```
.....  
<hr>  
* <a href="sub.html">次のページへ</a>  
</body>  
</html>
```

(4) 上書き保存をします。[ファイル] - [上書き保存] をクリックします。



```
<html>  
<head>  
<title>銀河の森高等学校Webページ</title>  
</head>  
<body>  
<font size="5">  
<font color="#0000FF">銀河の森高等学校</font>  
</font>  
<br>  
<font color="FF0000">0123-45-6789</font>  
<hr>  
<a href="sub.html">次のページへ</a>  
</body>  
</html>
```

(5) 「index.html」をダブルクリックして、ブラウザから表示させて確認してみましょう。リンク設定された文字（「次のページへ」）にアンカー（下線）が入っていることを確認してください。また、そのアンカーをクリックして、サブページが表示されることを確認してください。



【タグを覚えよう7】

[書式] `~` リンク設定をします

(注) 開始タグ<a ~>と終了タグで囲まれた文字列（画像でも可）にリンク設定をします。

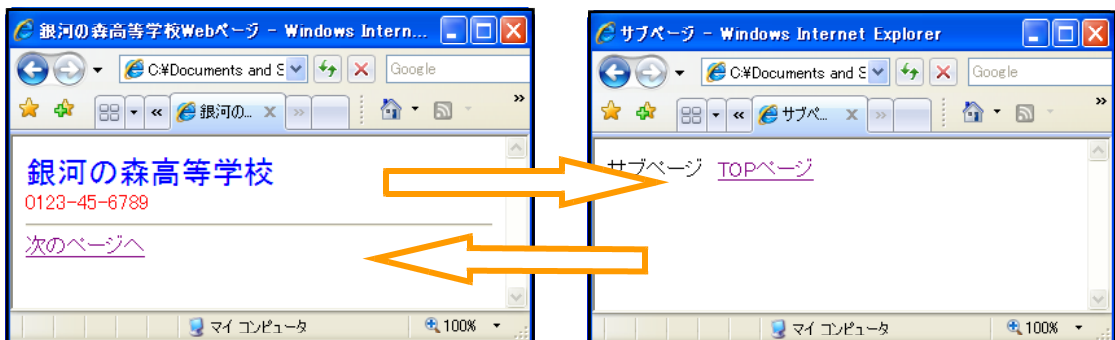
なお、リンク先のページを表示する方法の指定を以下のようにすることができます。

`` . . . 新しいウィンドウで表示

`` . . . 現在表示されているウィンドウに表示

●●課題演習4●●

先に作成したサブページ（sub.html）から TOP ページ（index.html）へリンクの設定をしてみましょう。その際に、リンク先のページは、現在表示しているウィンドウ内に表示できるようにしましょう。



【HTML の基礎 I まとめ】

■ ページタイトル <title>~</title>

■ 水平線 <hr>

■ 文字サイズ ~

■ 文字色 ~

■ リンク設定 ~

【チェックリスト】

項目	はい	いいえ
■ 1 メモ帳を開くことができる。 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [メモ帳]		
■ 2 拡張子を「html」として、ファイルを保存できる。 [ファイル] - [名前を付けて保存]		
■ 3 文字を入力することができる。		
■ 4 文字を改行することができる。 		
■ 5 段落を設定することができる。 <p>~</p>		
■ 6 ページタイトルを設定することができる。 <title>~</title>		
■ 7 文字の色を設定することができる。 ~		
■ 8 文字のサイズを設定することができる。 ~		
■ 9 水平線を挿入することができる。 <hr>		
■ 10 リンクを設定することができる。 ~		